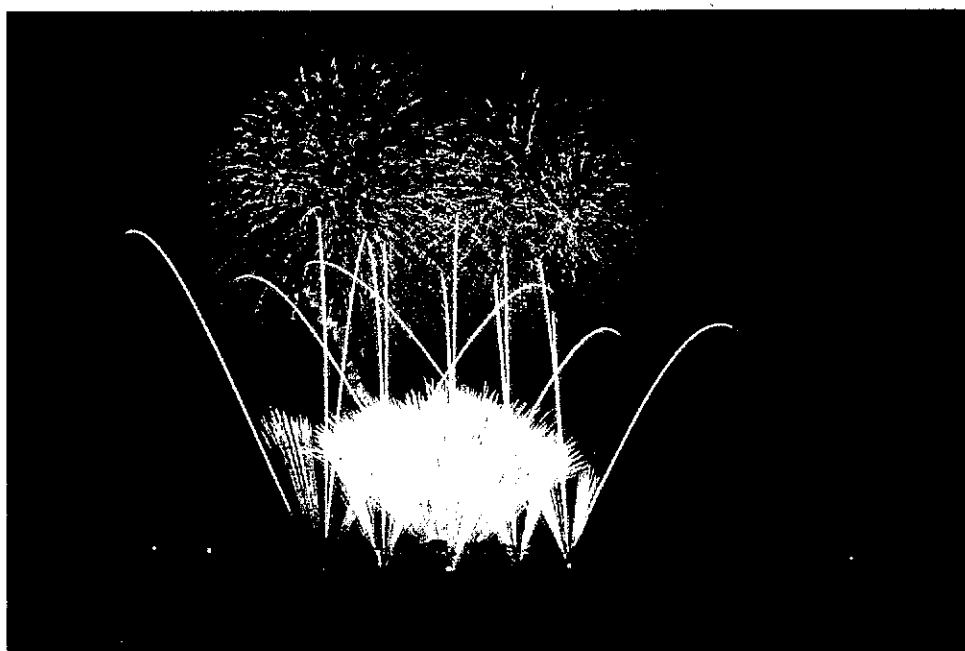


平成27年度  
第3回江津湖花火大会実行委員会

資料

【次第】	・・・・・・・・・・P1
【報告事項】	・・・・・・・・・・P2
【承認事項】	・・・・・・・・・・P7
【連絡事項】	・・・・・・・・・・P9



平成27年11月27日

熊本市観光文化交流局観光振興課にぎわい推進室

平成 27 年度  
第 3 回江津湖花火大会実行委員会

- 日 時：平成 27 年 11 月 27 日（金）午後 4 時 30 分～  
□場 所：熊本市役所 14 階大ホール

次 第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
  - (1) 大会実施概要
  - (2) 開催予定日の順延経緯
  - (3) 開催当日のタイムスケジュール
  - (4) 主な取組み実績
- 4 承認事項
  - (1) 平成 27 年度補正予算（案）
  - (2) 次年度以降に向けた取組みの方向性（案）
- 5 協議
- 6 連絡事項
- 7 閉会

## 報告事項

### 1 大会実施概要

本市主催の花火大会は、平成22年の熊本城での開催を最後に中止されていたが、花火大会の復活を待ち望む市民の思いを受け、5年ぶりに「水の都」のシンボルである江津湖において開催することとなったものであり、復活開催にあたっては観客の安全確保を最優先事項と位置づけるとともに、官民連携による持続可能な実施体制と基盤づくりの構築を念頭に取組みを実施。

#### (1) 開催日

平成27年8月30日(日) ※当初予定日29日(土)は荒天により順延

#### (2) 開催時間

19時30分開始(式典・打上げ)、20時40分終了

#### (3) 主な観覧会場

水前寺江津湖公園広木地区、動植物園南側遊歩道及び植物園エリア、  
東部浄化センター内及び周辺部

#### (4) 打上場所・打上数

水前寺江津湖公園広木地区より1万発を打上げ ※別途仕掛け花火11基

#### (5) 観覧者数

10万5千人(推定) ※当初予測は13万人(雨などの影響で減少)

#### (6) 主催

江津湖花火大会実行委員会・熊本市

### 2 開催予定日の順延経緯

<8月29日(土)の状況>

時刻	状況
8:00	態度決定時刻の午前8時に開催を決定
14:30	午後にかけて徐々に天候が悪化したが、打上への影響はないことを確認
15:00~ 16:00頃	気象レーダー上で九州南部に濃い雨雲が発生し、メインの観覧場所である広木公園の一部に水溜りを確認 その後、予報が変わり気象レーダー上で九州南部の雨雲が熊本市内へ伸びてきて熊本市全域に大雨・雷・洪水・高潮注意報が発令。広木公園内の水溜りエリアが拡大し、雨足が強くなる。
16:45	順延を決定し、市HPへの掲載を試みるが、アクセス増による負荷で更新不能
16:48	市公式フェイスブックに順延決定を掲載
16:51	TKU番組内で順延告知を掲載及び順延告知CMを放送
17:34	市HPへ順延決定を掲載

### 3 開催当日（8月30日）のタイムスケジュール

時刻	内容
8:00	第一次態度決定公表：「開催可否について天候状況等調査中」
12:00	第二次態度決定公表：「開催予定」
13:00	シャトルバス運行・観覧会場への入場開始
14:45	県警等関係者間との協議・開催決定
15:00	最終態度決定公表：「開催（最終決定）」
17:00	交通規制開始 ※一部エリアについては20:30～
19:30	主催者・来賓代表挨拶、熊本城おもてなし武将隊勝どき
19:40	花火打上開始（点火式・カウントダウン・打上）
20:40	花火打上終了
22:35	交通規制一斉解除
22:53	市電上熊本行き最終便発車（健軍町発）
23:00	シャトルバス運行最終便発車
23:24	市電交通局止まり最終便発車（健軍町発）

### 4 主な取組み実績

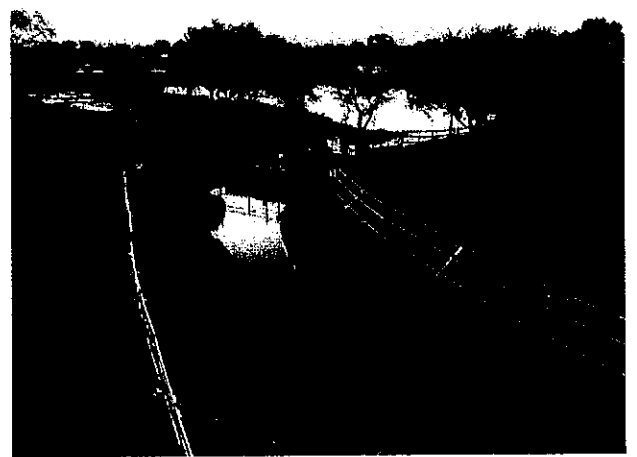
#### (1) 観覧者安全対策

- ①花火打上に伴う立入禁止エリアを設定するとともに、観客の湖面等への転落防止のため、観覧会場内に防護柵の設置や、橋梁上での立ち止まり観覧を防止するために、目隠しネットの設置など、危険箇所への対策を実施
- ②警備体制として、民間警備員、地元交通指導員、地元自治会・企業・団体ボランティアの約800人をはじめ、市スタッフ約500人超の総勢1,300人を超える人員により、交通・雑踏面での警備を実施
- ③体調不良者や負傷者等への対応として、会場内に救護所を3箇所設置し、各所に看護師・消防局員を配備。花火大会に伴う当日救急搬送はなし。
- ④来場者の誘導は県警との連携により、事前の想定に基づき観覧エリアの混雑状況を判断のうえ一部封鎖するなどの対策を実施。

《広木公園会場への来場模様》



《水辺への転落防止柵設置》



(2) 交通アクセス対策

会場周辺での車両の総量抑制の観点から、大会当日を「ノーマイカーデー」と位置づけ、会場周辺での花火大会専用駐車場を設けず、既存の公共交通機関の利用促進を図るとともに、無料臨時シャトルバスを市内4経路で運行。

バス事業者等の円滑な運行と関係機関との連携が図られた結果、帰路においても当初の想定より早く乗車・輸送が完了。

<無料臨時シャトルバス>

【行き=13:00~19:30、帰り=20:30~24:00の間で運行】

経路	行き		帰り		合計		駐車台数 (駐車可能台数)
	本数	人員	本数	人員	本数	人員	
A経路 交通センター⇄動植物園西口	51本	2,408人	40本	2,117人	91本	4,525人	-
B経路(パーク&ライド) 戸島ふれあい広場⇄健軍電停北側	34本	1,274人	31本	1,109人	65本	2,383人	478台(1,000台)
C経路(パーク&ライド) 南区役所・JR富合駅⇄嘉島町運動公園	20本	763人	15本	701人	35本	1,464人	425台(500台)
D経路(※帰りのみ運行) 健軍電停北側⇄交通センター	-	-	13本	379人	13本	379人	-
計	105本	4,445人	99本	4,306人	204本	8,751人	903台(1,500台)

◇総計：運行本数204本、輸送人員8,751人、パーク&ライド利用903台

<<南区役所乗車>>



<<動植物園西口降車>>



<市電>

① 16時から24時の間で上下線合わせて79本を増便したことにより、通常の約1.5倍の車両本数により運行。

②市電の混雑状況

市内中心部の水道町・通町筋・辛島町電停では行き帰りとも混雑が見られ、懸念されていた帰路の健軍町電停及び動植物園入口電停においても、一時的に約500~1000人の乗車待ち行列が生じたが、交通局スタッフによる配車対策及び状況に応じた折返し運行等、無線機を活用し柔軟な対応を実施したことにより、21時30分頃までには混雑が解消。

(3) 動植物園の動物への対応状況

江津湖においては11年ぶりの開催となることから、心配された動物への対応策として、動物が一番安心できる寝室に早めに収容し、音や光が直接伝

わらないように窓を閉め、各動物に飼育員が付き添い行動観察を行った。ペンギンなど一部の動物については、はじめ不安な様子が見られたものの、次第に落ち着きを見せ特段大きな混乱等は見られなかった。

#### (4) 賑わい創出の取組み

##### ①健軍商店街

8月29日(土)に地元商店街を中心に「健軍サマーナイト」とし、健軍アーケード内にて音楽や出店など多彩な賑わいイベントを実施。開催途中で順延となったものの、多くの来場者で賑わいを見せた。翌30日はイベント開催はなかったが、来場者が商店街で飲食して帰った旨の報告を受けた。

##### ②中心商店街

8月29日(土)順延に伴い、結果的に中心商店街で食事して帰宅された人が多く見られ、翌30日も浴衣姿の人が多く見られたと中心商店街関係者から報告を受けた。

#### (5) その他の取組み

##### ①翌日一斉清掃の実施

大会翌日の31日(月)平日早朝のうえ小雨にも関わらず、地元住民等をはじめ約400人のボランティア参加のもと、会場周辺の一斉清掃を実施。

##### ②実行委員会収入の状況

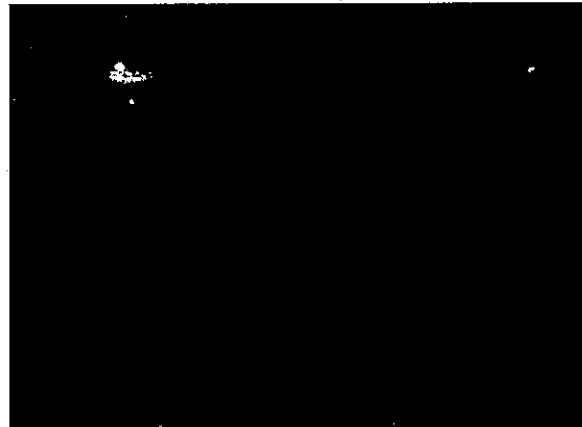
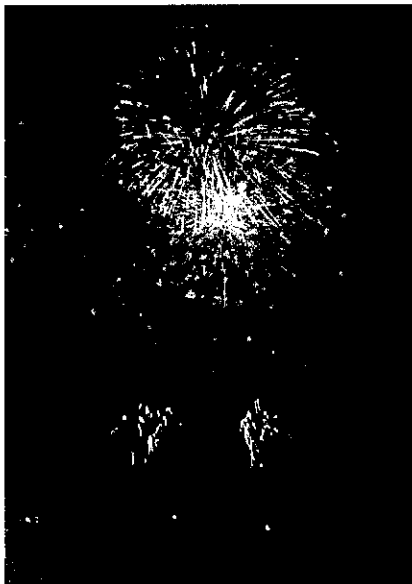
・協賛金：企業からの協賛金(計9社)	1,500,000円
・寄付金：会場、シャトルバス発着場に設置	24,626円
・出店料：出店数93店舗×2万円	1,860,000円
	<u>合計3,384,626円</u>

#### (6) 経済効果の推計

江津湖花火大会の開催が地域産業にもたらす効果を計数的に把握するため、経済効果を算出するもの。

※熊本県(統計調査課)の経済効果分析ツールを用い、平成26年熊本市観光消費額を基に花火大会の消費行動に照らし試算

**江津湖花火大会開催に伴う経済効果 10億5,100万円**



## (7) 課題等

今年度の取組み実績に関して、様々な関係者からの意見を踏まえ、主な課題として下記の内容が挙げられる。次年度以降に向けては、更なる安全対策の強化とより効果的な取組みが重要であり、今後関係機関と協議を進め、諸課題の改善に向けて取り組んでいく必要がある。

項目	内容
①開催・順延・中止の決定	○判断材料を検討し、決定・公表時間の基本的ルールの明確化 ○情報提供の手法（媒体）と連絡体制の再構築
②観覧エリア開放時間	○各観覧エリアの開放時間（13時から）の見直し ○熱中症対策を踏まえた場所取りルールや時間の検討
③シャトルバスの運行	○出発時間（13時から）の見直し ○利便性の観点から発着地点の一部見直しや追加を検討 ○利用率増に向けた広報強化と手法の検討
④入場制限・分散収容	○観覧エリアへの入場制限や封鎖判断の見直し ○主動線を踏まえた広木公園と動植物園南側観覧エリアへの誘導方法の見直し ○観覧エリア設定の見直し
⑤警備体制・交通規制	○今年度実施配置を基本とした見直し ・滞留箇所の人的強化とそうでない箇所との配置見直し ・自主警備スタッフの役割分担の明確化と機能強化 ○交通規制区域と警備配置の早期決定 ○交通規制情報の早期段階での周知・徹底 ○交通規制区域周辺及び広域での違法・迷惑駐車対策 ○市内中心部電停における乗降対策の強化
⑥その他	○晴天時の熱中症対策を踏まえた施策の再検討 ○緊急時の救急車両の進入導線の再検討 ○関係者間の更なる情報共有の強化 ○効果的な広報・周知方法

※その他参考資料

別紙・・・住民アンケート等の調査結果

## 承認事項

### 1 平成27年度補正予算（案）

#### <江津湖花火大会実行委員会事務局規程細則（一部抜粋）>

##### （予算の補正）

第13条 事務局長は、予算の調整後に生じた理由に基づいて、既定の予算に追加  
 その他変更を加える必要が生じたときは、補正予算案を作成し、実行委員会に提出  
 し報告しなければならない。

#### （1）補正予算の内容

- ・開催予定日の8月29日（土）が、大会開始前の荒天により翌日に順延となつたため、翌30日（日）開催に係る安全対策経費（警備費、シャトルバス運行経費等）が増加。
- ・民間放送局向けの「イベント広報・企画運營業務」経費を削減し、当該業務の中で協賛金募集及び協賛金収入による事業拡大を実施したことにより、協賛金収入が減少。

#### （2）補正予算額

- ・補正後の支出予算額に対し、歳入の不足額9,900千円について歳入予算額の市負担金を増額し、補正後の収入支出予算額を116,884千円とするもの。

#### 平成27年度補正予算（案）

##### 【収入の部】

（単位：千円）

項 目	当初予算額	補正額	補正後の額	内 容
1 負担金	100,000	9,900	109,900	熊本市からの負担金
2 協賛金	10,000	△ 8,500	1,500	企業からの協賛金
3 寄付金	100	△ 76	24	市民等からの寄付金
4 事業収入	0	1,860	1,860	出店料収入
5 雑入	0	3,600	3,600	興行・イベント中止保険の適用
合計	110,100	6,784	116,884	

##### 【支出の部】

項 目	当初予算額	補正額	補正後の額	内 容
1 イベント広報・企画運営費	25,000	△ 10,000	15,000	広報経費、花火打上関係経費 大会企画運営費 等
2 安全対策・社会実験費	55,000	32,702	87,702	警備員、安全対策施設、交通規制看板 関係、シャトルバス運行 等
3 施設費	10,000	△ 3,256	6,744	本部テント、仮設電源、会場内音響、 観覧席、仮設トイレ 等
4 住民対策・周知広報経費	0	892	892	地元用交通規制告知、配布用うちわ作 成 等
5 事務局運営経費	10,000	△ 3,454	6,546	イベント保険代、デジタル無線借上、 備品・消耗品購入、一般管理費 等
6 予備費	10,100	△ 10,100	0	
合計	110,100	6,784	116,884	



## 2 次年度以降に向けた取組みの方向性（案）について

### <取組みの方向性>

持続可能な花火大会を目指すため、人的体制及び財政面での  
基盤づくりを段階的に進める。

#### (1) 持続可能で安心安全な花火大会に向けた安全対策の構築

- ①安全対策等に係るノウハウの蓄積と継承
- ・地元地域や関係機関との更なる協力体制・連携強化
  - ・役割分担の明確化（市・民間・地元ボランティア等の役割を整理） 3頁
  - ・情報共有と連携・伝達方法の構築
  - ・安全対策マニュアルの作成
  - ・従事スタッフへの研修強化

#### (2) 人的体制の基盤づくり

- ①新組織の設立
- ・官民連携による持続可能な花火大会に向けた取組みを進めるため、それぞれが実施主体の一部となりうる団体や民間事業者を中心に、新年度早々新たな組織を設立。委員の任期は3年程度を想定。
- ②事務局機能の移行
- ・実行委員会運営について、将来的に民間主導型による持続可能な花火大会への移行を進めるため、実行委員会組織内における民間事業者等からの人的支援の拡充を促し、段階的な事務局機能の移行を図る。

#### (3) 財政面での基盤づくり

- ①市事業負担の段階的民間移行
- ・将来的に事業の民間移行（民間主催・共催）を念頭に、民間事業者を含む実行委員会内で業務を分担。（例：民間が大会運営と広報を担当、市が警備等周辺安全対策を担当）
- ②新たな財源確保策の検討
- ・民間移行に伴う民間事業者の経費負担の拡大（特典の整理・見直し）
  - ・有料観覧席の設置、出店エリアの拡大、メッセージ花火等の実施
  - ・地元地域や一般市民から「花火大会継続のための寄付」を募集
  - ・ふるさと納税制度の活用やクラウドファンディング等による資金調達方法の検討

#### (4) 地域経済活性化への寄与

- ①効果測定の見直しと施策の推進
- ・花火大会を通じた交流人口の拡大が地域経済へ及ぼす効果を検証するために、経済効果を算出。また、市内域での回遊性向上や県外観光客誘致の観点からの施策を推進することにより、事業の有益性を備えた持続可能な花火大会の開催に向けて取り組む。

## 連絡事項

---

### 1 次回実行委員会の開催について

次年度以降に向けた取組みについて、具体的な事業計画等を策定するため、  
来年2月頃に次回の実行委員会を開催させていただきたい。  
日程等の詳細については、改めてご連絡いたします。

届内移行への課題

- ・ 自立可能な企業の存在
- ・ 認知度
- ・ 街作りとしての行政の役割合い

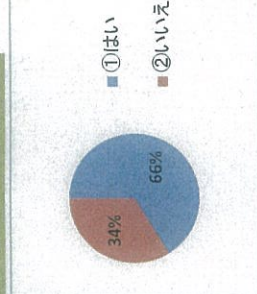
### A 周辺住民アンケート調査結果

◎地元校区自治協議会と商店街の協力により実施

■回答者数 124名(秋津、健軍東、泉ヶ丘、画図、若葉、健軍、健軍商店街)

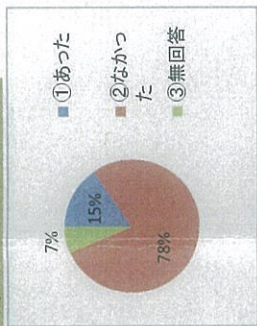
・Q1 今回の花火大会を見に行きましたか

①はい	82
②いいえ	42



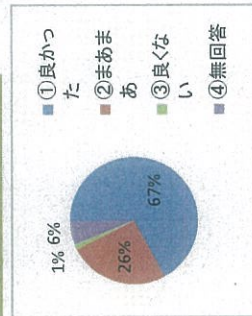
・Q5 周辺住民として困ったことはありましたか

①あった	19
②なかった	97
③無回答	8



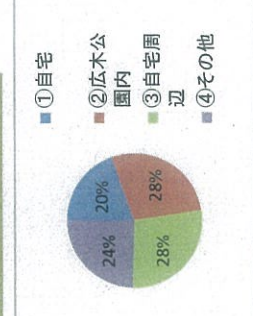
・Q2 1で「はい」の方、見に行つた感想は

①良かった	55
②まあまあ	21
③良くない	1
④無回答	5



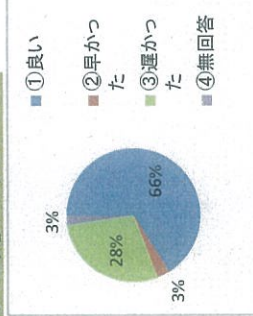
・Q3 1で「はい」の方、花火はどこで見ましたか

①自宅	16
②広木公園内	23
③自宅周辺	23
④その他(その他) 神水、若葉農道、田迎、江津湖周辺、動植物園	20



・Q4 8月下旬の花火大会は、開催時期としてどう思いますか

①良い	82
②早かった	4
③遅かった	35
④無回答	3



### B プロパーション調査とアンケート集計結果

◎熊本大学政策創造研究センターと熊本商工会議所の協力により実施

■利用登録者49人(8/29=204人利用登録者)をサンプル

プロパーション調査とは、熊本大学の開発による、交通調査アプリ「スマくま」をスマートフォンへインストールし、移動軌跡を記録する調査であり、今回、社会実験として試験的に実施したものです。調査のなかで、アンケート調査も実施しており、その一部を集計したものを記載しています。

#### 1. 花火大会開催日(8月30日)における参加者の移動軌跡

交通調査「スマくま」を用いて、移動軌跡・まちなかへの回遊性などの調査が行われています。今回は、調査の一部である、人の回遊性を時間ごとに調査したものを簡単に、記載いたしました。

(1) 17時台(17:00~17:59)

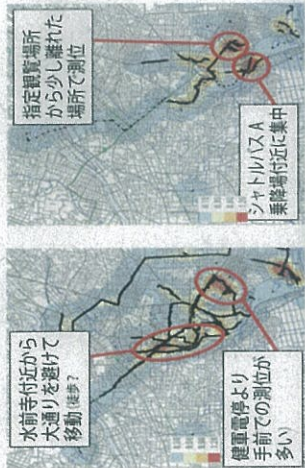
自宅より、市電沿線の移動および健軍電停付近(シャトルバス乗降場付近)の測位が目立つ。

(2) 18時台(18:00~18:59)

健軍商店街から広木公園にかけての測位が目立つ。18:30よりそれに加え交通センターおよび水前寺地区での測位が多くなっている。

(3) 19時台(19:00~19:59)

「水前寺地区から電車通りを避けて江津湖へ向かっている軌跡」及び「健軍電停より手前から会場へ向かっている軌跡」が興味深い。また、シャトルバス乗降場付近(動植物園)に測位が集中していること、指定観覧場所から少し離れた場所(泉ヶ丘小学校付近と推測される)での測位が見られた。



(4) 20時台(20:00~20:59)

時間経過と共に、広木公園付近の測位が減少していく。

(5) 21時台(21:00~21:59)

神水交差点付近に軌跡が集中しているが、密度が低いため滞留していたとは考えにくい。それぞれの帰路についているため軌跡が広範囲に伸びている。

(6) 22時台(22:00~22:59)

22時台になると測位人数も大きく減少傾向となる。22:30~22:59まで測位できていた方は、主に交通センター付近が確認された。

#### 2. アンケートによる交通手段調査

シャトルバス	.....	男性4人	女性5人	(18, 4%)
市電・熊電	.....	男性4人	女性6人	(20, 4%)
自動車・タクシー	.....	男性5人	女性5人	(20, 4%)
徒歩	.....	男性7人	女性7人	(28, 6%)
自転車・バイク	.....	男性4人	女性2人	(12, 2%)

#### 3. アンケートによる良かった点、悪かった点を含めた感想、意見

- ・花火が、いつ終わるかわからなかった。スケジュールが分かるとうれしい。
- ・市電から降りて行くまでの道が、人がいたので分かったが見物客がいなかったら分りにくかったと思う。
- ・会場全体の見取図とスケジュールがあると良かった。
- ・花火が頭上でも歩けたため、迫力があつた。交通規制が行われていたことで、会場周辺は車道も歩けたため流れがスムーズだった。
- ・無料シャトルバスについて事前にもっと詳しく教えて欲しい。チラシを配布するなど。